

第24回 図書館とともにすすめる まち・教育・情報の未来



図書館総合展2022

— ONLINE — **plus** (おんらいん ぷらす)

出展説明会

「学生さん、学生協働さん、引率の先生方へ」編

図書館総合展運営委員会

お問合せ先：LF@j-c-c.co.jp

■本日のすすめかた

- だいたい1時間を予定。
- 見逃し視聴の方用YouTube公開のため録画させていただきます。
- ご質問とご要望は、zoomのチャットか（できるだけ時間内に回答）
- 共有ドキュメント か（詳しく回答） <https://bit.ly/3IITLXs>
時間中にお答えしきれないもの、またより詳しい回答を、説明会后、共有ドキュメント上におきます。
- お問い合わせへ（こっそりっぽい問い）
<https://www.libraryfair.jp/contact>
- 小展へのご要望も同様です。
- 挙手発言も受け付けます（ミュートを外してお声かけを）

■本日の説明会

- 本日のすすめかた
- (初めての方には) 小展ご紹介 (おなじみの方にはおさらい)
- 今年のカイ催形式とカ力点
- 運営委よりご提供するもの/しないもの、出展者にご用意いただくもの
- **学生協働さん、学生チームさん、先生方、職員さん向け企画**
- 開催までのスケジュール
- 開催案内冊子
- 質疑応答

■小展ご紹介（これまでの振り返り）

- 小展は（2019年まで）毎秋、パシフィコ横浜（ホールD+アネックス）を会場に、3日間の会期、のべ3万人の来場、300～400の出展、90の講演で開催してきました。館種を越え、立場を越え、テーマを越えて集まる図書館イベントは他には多くなく、この種のコンベンションでは日本最大です。
- 2020年からは時世の影響を受け、コンテンツ（展示・イベント・ワークショップ・LIVEなど）を全面オンラインで開催しています。会期は1カ月間（後述：出展者さまのPRご利用は1年間可です）。限定コンテンツもみられる登録ユーザーは、2022年5月時点で14,254となっています。
- オンライン化の経緯と収穫については、**CA1996、「社会教育」2021年11月号**にご報告させていただいております。

■現在の形式の価値と評価1

・オンライン化で獲得しているもの：

- ★学校図書館、ワンパーソン・ライブラリー、非正規さん、遠方の皆さまのご参加が増えました。
- ★「図書館にまだ少ししか関わっていない（しかし近々近しくなろう）」という方々」のご参加が増えました。
- ★図書館界のIT促進に微力ながら貢献できたかと思っています。
- ★講演、WSに代わる様々なイベント形式を試せています。

・オンライン化で失っているもの：

- ★同じ立場の同志との偶然の出会い。
- ★違う館種の方々との同席・相席・出会い。
- ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。
- ★参加者さんの集中力をつくりきれず、また参加者さんの時間をやみくもに奪ったおそれもあります。
- ★そして、、、何か足りない。

■現在の形式の価値と評価2

- **オンライン化でも継がれているもの：**
 - ★発表・営業を通じたコネクションの形成。
 - ★「他館種、近隣業界から情報収集しておくことは極めて有益」という感覚。
 - ★〈業者-図書館〉の間が近しく親しい祝祭期間としての小展。
- **2022年開催で奪還また獲得をねらっているもの：**
 - ★復活するリアル（対人、対物）への肩慣らし。
 - ★withコロナ、postコロナの営業・広報スタイルを試行錯誤する ← **「失敗していい空間」としての小展 ONLINE**
 - ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。

■開催形式と力点

1. 期間内ひいては年間通じた作戦でPRできる **オンライン開催**
2. 司書のひとり一人、全国各所が会場になる **サテライト会場開催**
3. ひさしぶりと新たな出会いで次を拓く **カンファレンス会場開催**

の3本立てです。

【力点】

「雪解けの水は美味しい」「久しぶりに会うあの人はいい人」

「**今年の出会いは値千金**」という感覚、時の利をおおいに味方にしてください、しましょう。

■運営委よりご提供するもの／ しないもの、出展者にご用意いただくもの

- ご提供するものは、**場とインデックス**、**広告・広報・告知**、**場の盛りあげ**、**機会**です。
- サーバー上に**出展団体ページ**と**イベント案内ページ**ほかをご提供しますが、その外つまりリンクで自社サイトなどに拡げるのはもちろん自由です。
- **イベント（フォーラム）は各自で制作していただき（YouTube、Teams、Zoomなど）、小展サイト内でリンクを示すしくみです。**
- ご提供するページは、各出展者が**随時編集**できるかたちです（wordpress 程度の作業）
- **開催案内冊子**（タブロイド判、9月下旬発行）、**メルマガ**（週刊、36,400件）、SNSで**ご出展とイベント情報**を拡散します。
- **運営委員会主催企画**も使い倒してください。

(といつつ)

■ほんとうにご提供するものは

- 出展者さまが内部外部の各方面へする **ご説明**の肩代わり
(と責任転嫁)
- **失敗**していい機会
- **きっかけ**

■昨年からのupdate

1. 公式webサイトのPR利用が、年間お使いいただける体制になりました。
2. 「サテライト会場」の実施内容が、より“自由”になりました。
3. 「見学会ONLINE」は発展的解消します（サテライト会場企画に吸収）。
4. 会期中2回程度、1dayの集合会場（カンファレンス）を設けます。
5. ブースツアーONLINEを拡大運用します。
6. アカウント登録とメルマガ登録が一体化しました。
7. マイアカウント管理を変更しました。
8. 出版社がオンラインの本展にも入ってきます。
9. 対外拡大政策をすすめています。

★詳細は5/25「引き続きご出展の皆さまへアップデートした点などを」回の記録で

■大学図書館・学校図書館さん、 教員さん・職員さん向けおすすめ企画

1. 全国学生協働サミットで友好団体をつくりましょう。
2. ポスターセッションでリアル図書館員と知り合いになりましょう。
3. サテライト会場へ登録しましょう、自館を披露しましょう。
4. 図書館キャラクター関連企画を組み立てましょう。
5. ブースツアーONLINEその1（参加者として）
6. ブースツアーONLINEその2（主宰者として）
7. 出展社と協同企画しましょう、取材を受けましょう。

■1 全国学生協働サミットで 友好団体をつくりましょう。 1

- 会場開催時には、数十校が一堂に会し発表し各校間で友誼を結んでいた企画
<https://www.2019.libraryfair.jp/news/8943>
- オンライン開催後も、発表とシンポジウムを行ってきました。
<https://www.libraryfair.jp/forum/2021/214>
- 各校で学生協働が再開し、社会の規制状況にも変化のある今年「交流」復活を目指して企画中です。
- 問題意識は「**空白期間の出来てしまった団体ノウハウの継承を**」「**非対面型の経験をプラスに転じて新たな活動を**」です。

■2ポスターセッションで リアル図書館員と知り合いに。

- 学生団体さん、院生さんなどがポスターセッションに出展するメリットは、<https://www.libraryfair.jp/poster>
- 同志を得ること→元気がでます。
- おとなの前で発表すること→いろいろついてきます。
- 出展内容：オンライン上に掲示する。
また“全国告知のイベント”を実施する。
- サテライト会場、カンファレンス会場に現物を展示、発表していただけます。

■3-1サテライト会場へ登録し、披露しましょう。

- 自館を集いの場、見学推奨館として登録し、図書館総合展来場者をリアルで受け入れる企画です。（無料）
<https://www.libraryfair.jp/feature/2021/35>
- “サテライト会場ですること”は自由。「図書館総合展のイベントをパブリックビュー」してますというのも可。
- “登録”すると、全国配布の開催案内冊子に情報が掲載されます。来場者配布用グッズなどが支給されますので、とりあえず登録しましょう。

■3-2サテライト会場へ登録し、披露しましょう。

- サテライト会場は、全会期にわたって開催しなくともよく、断続的に開催してもよいです（会場主と行政判断）。
- サテライト会場では、会場主のイベントのほか、他の出展者との協業、共催をすすめていただくこと大歓迎。運営委員会企画も出張します。
- サテライト会場には、運営委員会主催企画の「スタンプラリー用部材」「景品バッジ」「会場表示ポスター」等をお送りします。
- サテライト会場運営にあたっては、事務局でマニュアルを用意し、場合により事務局員を派遣します（無料）

■4 図書館キャラクター関連企画 を組み立てましょう。

- 会場開催時、図書館マスコットとその親御さんが交流するイベントとして好評を博しておりましたこの企画、リアル部分復活の今年、企画を巻きなおしております。

<https://www.2019.libraryfair.jp/character>

<https://www.libraryfair.jp/feature/2021/38>

- 「キャラクター（こどもたち）を介してママ友をつくる」かのような…。内気な学生さんにもおすすめです。
- 企画とご要望、幹事を募集します。

■5 ブースツアーONLINEその1 (参加者として)

- もともとは展示会場内で、先生方の引率のもと、ブースを巡っていたもの。
- オンライン（Zoom）上に、見学者と出展者数団体、そして引率者（図書館情報学の先生方）が集い、各社を訪問するがごとく、図書館世界を次々巡ってはお話を伺う“tour”、好評につき今年も開催します。※各ツアーのスケジュール等は9月後半に発表。 <https://www.libraryfair.jp/feature/2021/26>
- 図書館について研究しておられる学生さん、就職のため図書館企業の業界研究をしておられる学生さん、図書館に異動して間のない職員さん、若手さんにおすすめです。

■6ブースツアーONLINEその2 (主宰者として)

- またこの企画は、先生方に“講義の一回”としてご利用いただくことが可能です。また職員さん向けの研修にもご利用ください。
- 「先生（または研修担当さん）に引率者になっていただくという体裁で、3-5出展団体の方を招き次々インタビューする、学生たち＋外部受講者が聞き手となる」という形式です。
- 11月1日～30日の総合展会期中内の実施が原則ですが、ご希望により調整します。
- おって「講義にこの企画を使いたい先生方」と「取材されてもいい出展団体さん」のマッチングを行います。

■7 出展社と協同企画しましょう 取材を受けましょう。

第24回 図書館とともにすすめるまち・教育・情報の未来
Library Fair & Forum **図書館総合展2022**
ONLINE **plus** (おんらいん ぷらす)

- 図書館企業さんが、お客さんどうしをつなげてくれます。
- 図書館企業さんが、学生さんを…につなげてくれる、かもしれません。

■開催までのスケジュール

- 5月23日：サイトリニューアル（年間イベント告知体制へ）
- 7月中旬：2022年ページに切り替わります。ここまでにお申込みいただければ最初からtop表示です（2020年以前のコンテンツはアーカイブ公開に移行します）
- **～8月31日：出展申込×切（開催案内冊子へ掲載するなら）**
- ～9月10日頃：開催案内冊子校了（イベント開催日・タイトル・「募集！」など掲載したい情報をこの日まで）
- **9月下旬：開催案内冊子全国送付（フォーラム受付開始）**
- 11月1日～30日：会期（特集日を設定）

■まずは

- お申込みを！
- 出展料：
一般 = ¥220,000 (税込)
非営利 = ¥110,000 (税込)
ポスター = ¥11,000 (税込)
- **お早めに！ 申込時より1年間、メルマガ・webページ・SNSをお使いいただけるからです。**
- **サテライト会場（後述）にもご登録いただけますと効果倍増です。**

■開催案内冊子

- 今年もタブロイド判4c8p構成（予定）です。
- 8月20日～9月13日頃まで編集、9月末全国発送です。
- 発行部数 30万部
- **紙面広告、折込広告についておってご案内します。**
- **図書館周縁、図書館外へのPR、問いかけを重点課題においています。**
- 今年はイベントページ配布数に制限がないので「9月9日決定分」までしか掲載できません。…配布後はwebサイトを参照していただくかたち。

■ 質疑応答など

- 個別の相談会も承っております。
- 質疑記録をこちらに残します（順次改訂）
<https://bit.ly/3IITLXs>
- この説明会の動画はこちらから
<https://www.youtube.com/channel/UCvKAycXbwtCFLrsdsZe89nA>
-

みなさまのご出展をお待ちしております。